

令和2年（2020年）年頭所感 公益財団法人 東京観光財団 前田 新造



令和2年の新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

日本を訪れる外国人旅行者は、国際情勢等の影響により一部鈍化の兆しがあるものの、依然として高い水準を維持しています。

こうした中、今年はいよいよ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。世界中の耳目を集めるこの

記念すべき年を迎えるにあたり、私どもの活動状況と、今後の取組について述べさせていただきます。

昨年ラグビーワールドカップ2019™では、日本代表の活躍に日本中が熱狂しました。日本政府観光局（JNTO）の発表によりますと、大会期間中、同大会出場国が含まれる欧米豪からの訪日客数が前年に比べて大幅に増加するなど、ラグビーワールドカップ2019™は、日本国内だけでなく、世界中からも大変注目を浴びる機会となりました。当財団でも、大会期間中、メディア向けに東京ブランド Tokyo Tokyo のPRや、キャンペーンサイト「Japan Sports Journey」を活用した情報発信、また、有楽町と調布のファンゾーンに Tokyo Tokyo 観光PRブースを出展し、国内外から多くの方々に訪れて頂きました。東京2020大会でも積極的に展開してまいります。

次に、昨年9月、10月の台風被害への対応です。多摩・島しょ地域など、台風により、観光客数や旅行需要の落ち込みの影響を受けた地域への旅行者誘致に力を入れてまいります。具体的には、対象地域における旅行商品や宿泊を対象として、その代金を1人1泊あたり5,000円割り引く「東京都ふっこう割」の実施や、観光PRキャンペーンを行うことで、国内外の多くの方に多摩・島しょ地域を訪れて頂けるよう、取り組んでまいります。

それから、MICE（ビジネスイベント）誘致です。誘致支援によって、国際食道疾患学会議（2022年）、シーグラフアジア 2021、ワン・ヤング・ワールド サミット 2021 などの大型国際会議の誘致に成功しました。また、ユニークベニューの視察ツアーやレセプション等を含むショーケースイベントを実施し、ユニークベニューの魅力を発信することで、引き続き MICE 開催都市としての魅力向上を図り、国際会議の誘致を進めてまいります。

東京2020大会を目前に控え、旅行者受け入れに向けた環境整備についても取組を加速しているところです。宿泊施設のバリアフリー化事業では、さらなる活用をして頂くため、昨年より補助対象や条件の拡充を図りました。街なかで外国人旅行者向けに観光情報等を多言語で提供

するデジタルサイネージについては、災害時の情報発信機能を追加して、都内各所への設置を進めているところです。旅行者の皆様が快適に過ごして頂けるよう、また、大会後のレガシーとなるよう、引き続き取組を進めてまいります。

ビッグイベントを契機に、国内外から東京への注目がますます高まる中、財団の理念である「世界から選ばれ続ける TOKYO へ。」の実現に向け、職員一丸となって取り組んでまいります。本年も、TCVB ミーティングや TCVB ビジネス交流会などを通じ、賛助会員の皆様との連携をますます深めてまいりたく、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が会員の皆様方にとりまして、大いなる発展の年になりますことを心より祈念いたします。

きらぼし銀行×東京観光財団 インバウンドセミナーの開催

当財団では賛助会員の皆様に関心する観光ビジネスに関する有益な情報及び様々な企業の皆様同士の交流機会を提供することを目的として、セミナーや交流会を開催しております。11月25日（月）に東京きらぼしフィナンシャルグループ・きらぼし銀行との合同セミナーを TOKYO 創業ステーション Startup Hub Tokyo にて開催いたしました。

東京2020大会を目前に控え訪都外国人旅行者が急増している今、世界の旅行形態も「モノ消費」から「コト消費」へと変化しています。質の高いサービスや体験を求める外国人旅行者をどのように満足させ、どのようにビジネスにつなげていくのかをテーマに「ディズニーと三越で学んできた日本人にしかできない『気づかい』の習慣」の著者上田比呂志様にご講演いただきました。

講演会には、賛助会員の皆様のみならず、起業・創業を検討している方々を含む41社47名にご参加いただき、その後の交流会でも活発な意見交換や質疑応答が続きました。（総務部）



令和元年度会員情報交換会「交流の集い」ご案内

例年、ご好評いただいております賛助会員情報交換会「交流の集い」を開催します。東京2020大会開催を控え、2020年以降の観光業界に関する講演及び東京2020大会開催決定以降の財団の取組についてのパネルディスカッションを通じ、観光業界にとっての東京2020大会のレガシーを考えます。

日時 令和2年2月20日（木）

会場 京王プラザホテル

※内容・お申込み等の詳細は、当財団 HP にてご確認下さい。

お問い合わせ先：総務部 賛助会員担当

「グループインタビュー」の実施

当財団では、平成30年度より開始した企画調査に関する事業の一環として、在京外国人識者の方々との意見交換を進めております。

令和元年度は、ウェブサイトやSNS等のオウンドメディアの運営方法をテーマに、オンラインメディア関係の仕事に従事されている在京外国人識者の方々とのグループインタビューを2回実施いたしました。

なお、グループインタビューで頂いた意見等については、財団 HP にも公開する予定です。（総務部）

日本初開催！ワン・ヤング・ワールド サミット2021、東京誘致に成功！



イギリス・ロンドンに本部を置く非営利組織、ワン・ヤング・ワールド（One Young World）の第12回目の大会となるワン・ヤング・ワールド サミット 2021（One Young World Summit 2021）の東京への誘致が成功しました。同サミットは日本初開催となり、世界190ヶ国以上より18～30歳の若者約2,000名が集って、グローバルリーダーとのディスカッションやネットワーキングを通じ、SDGs 目標達成のため、世界が抱える課題を解決へ

と導く活動をサポートする場となっています。2010年にロンドンで開催された第1回大会以降、ノーベル賞受賞者や各界のリーダー、起業家やアーティストなど数多くの指導者や著名人が参加しており、今年10月にロンドンで開催された大会でも、メーガン妃やノーベル平和賞受賞

者のムハマド・ユヌス博士らが参加しました。会場としてはロイヤルアルバートホールや自然史博物館などの多くのユニークベニューが活用されていました。当財団では、開催資金助成や開催支援プログラムの提供等を通じ、今後も国際会議の誘致に積極的に取り組んでいきます。

【会議概要】

名称：ワン・ヤング・ワールド サミット 2021

（One Young World Summit 2021）

会期：2021年9月下旬（予定）

参加人数：約2,000名（うち海外より約1,820名）

（コンベンション事業部）

東京ユニークベニューショーケースイベント 第3回を旧前田家本邸洋館で開催！

今年度からの新事業としてスタートしたユニークベニューを活用したショーケースイベントの3回目を開催いたしました。この事業は都内ユニークベニューの新しい活用方法の開発、活用促進に向け各施設の意識啓発、ユニークベニューの魅力発信を事業のねらいとして実施しています。



今回は12月3日（火）に目黒区駒場にあります旧前田家本邸洋館を会場として在京大使館、国際会議主催者、MICE 業界団体等の方々約50名をお招きし開催いたしました。

第一部ではカクテルパーティーをお楽しみいただいた他、学芸員の解説付きツアーにて重厚かつ繊細な建築とリニューアルオープンを機に復元された気品ある装飾をご堪能いただきました。また、当財団より「ユニークベニューとしての活用方法等のご紹介」と題したプレゼンテーションを行い、前田邸を始めとするユニークベニューの使い方等を披露しました。

第二部では日本で生まれた楽器「オークラウロ」の演奏を聴きながら、晩餐会スタイルでのお食事を模擬体験していただきました。前田家十八代ご当主にもご出席いただき当時の建物や生活の様子等、ご挨拶の中ご紹介いただきました。

次回のショーケースイベントは2020年3月上旬に清澄庭園で開催予定です。（コンベンション事業部）

海外メディア招聘（MICE メディア）ファミトリップを実施！

東京への更なる MICE 誘致を推進するため、10月7日（月）から11日（金）まで MICE メディア向けファミトリップを実施しました。欧州、北米、アジア地域から MICE 専門のライターを計3名招聘し、六本木エリアや、東京

2020大会にて注目が高まっている臨海エリアでテレコムセンター等を視察した他、多摩地域の石川酒造、高尾山を訪れ、MICE 向けコンテンツやユニークベンチャー等を実際に体験いただきました。

ライターは八王子エリアが実施する大学コンソーシアムとの連携、今後の MICE の可能性について特に熱心に話を聞いており、関心の高さが窺えました。

今後ライターによる記事広告を作成し、海外3地域の MICE 専門誌に掲載する予定となっており、東京の魅力を広く世界に発信していきます。

(コンベンション事業部)

MICE 誘致に向けた海外訪問営業 (第1回・東アジア) の実施

報奨旅行等 (MI) の誘致に向けたセールスプロモーションを目的とし、この11月に当財団は都内の MICE 関連事業者 (9社) 及び連携都市 (2都市) と共に、東アジア (北京・広州) での訪問営業を実施しました。各都市にて MI 開催地の決定に影響を持つ現地ミーティングプランナー及び企業の主催者 (計約50社80名) が一堂に会し、都内事業者等との個別商談を行いました。都内事業者からは、「具体的な案件があった。中国 MICE 市場に関する最新の情報収集や現地プランナーとの将来的な関係性を築くことが出来た」、「商談会にお越し頂いた現地プランナーは軒並みレベルが高く、有意義な交流や商談となった」など今後につながる前向きなコメントを頂きました。

第2回は2月最終週に東南アジア (ジャカルタ・ハノイ) への訪問営業を予定しています。

(コンベンション事業部)

ibtm world2019 (ビジネスイベント商談会) への参加

スペイン・バルセロナ (会場: Fira Barcelona Gran Via) で開催された "ibtm world2019" (11月19日 (金) ~ 11月21日 (木)) に参加し、東京へのビジネスイベント誘致を PR しました。参加者総数1万3000人を超える世界有数のビジネスイベント商談会で、JNTO と共同出展しました。東京への関心は高く、3日間の商談枠がほぼ埋まるほど多くのお問合せをいただきました。

JNTO は2日目にハッピーアワーを実施し、お寿司やアルコールを参加者に振舞いました。長蛇の列ができ、日本が持つコンテンツ訴求力が窺える機会となりました。

商談会では具体的な新規案件の相談を複数いただき、より多くの案件を東京へ誘致できるよう引き続き活動してまいります。



(コンベンション事業部)

国際会議×サステナビリティ

最近、SDGs やサステナビリティという文字をよく見かけるようになりました。国際会議の運営においてもサステナビリティの重要性が求められています。本稿では、去る10月にグランドニッコー東京 台場で開催された「クライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティ・トレーニング」において、MICE 事業者が取り組んだ事例の一部をご紹介します。

○会議開催に伴う CO2 の計測は？

ホテルで出たゴミは4つに分類し、スタッフがゴミの量を毎日計測し主催者に報告しました。主催者が持つ CO2 測定モデルで CO2 の量を計測することができました。

○ステージの装飾は？

ステージ上では、木工パネルを一切使わず、ドレープと LED 照明による装飾に徹しました。

○サステナブルな飲食の提供は？

2回ほど用意したランチはいずれもミートフリー (肉を一切使わない) のベジタリアン料理としました。食材も東京近郊から調達するよう努めました。また、コーヒープレイクでは、個別包装の砂糖やミルクは利用せず、ピッチャーや容器で提供しました。

コンベンション事業部では、サステナブルな国際会議運営を推進しています。昨年度「TOKYO MICE サステナビリティガイドライン」を策定しました。ガイドラインは以下でご参照いただけます。

[HP] <https://businesseventstokyo.org/ja/tokyo-mice-sustainability-guidelines/> (コンベンション事業部)

東京都 MICE シンポジウム 2020開催のお知らせ

「サステナビリティの観点から考える、MICE 誘致」をテーマとしたシンポジウムを2月5日 (水) 江戸東京博物館で開催いたします。第1部の基調講演にはコペンハーゲンコンベンションビューローの Kit Lykketoft 氏をお招きし講演していただきます。第2部では関連分野で活躍するパネリストによるディスカッションを行います。皆様のご参加をお待ちしております。お申し込みはこちらの

[HP] から: <https://tokyomice2020.tokyo/>

(コンベンション事業部)

● コンベンション誘致速報 ●

当財団が誘致活動支援をしてきた以下の国際会議の誘致に成功しました。

CORAS 2023

【会期】2023年8月27日～30日

【参加予定者数】300名 (うち海外より260名)

【会場】椿山荘

国際リアルワールド暗号技術会議 (RWC2022)

【会期】2022年1月18日～20日 (予定)

【参加予定者数】600名 (うち海外より400名)

【会場】未定

東京ブランド PR キャンペーン 「Cheers for Tokyo!」を実施



を行っています。

その一環として、都民及び訪都外国人の皆さんにアイコンとそのコンセプトを知っていただくため、10月に東京メトロ渋谷駅構内において、PR イベント「Cheers for Tokyo! in Shibuya」を実施しました。

本イベントでは、都内で撮影した東京の写真にハッシュタグ「#TokyoTokyo」を付けてSNSに投稿し、イベント会場で提示すると、オリジナルグッズが当たるキャンペーンを展開しました。また、プレゼント付きゲームや「東京おみやげ」の一部商品の展示・販売も実施しました。

加えて、渋谷駅前の街頭ビジョン及び山手線・東京メトロ各線の車内ビジョンにおいて、観光地としての東京をPRする映像を放映する等、同時期に広告展開もあわせて行いました。

今後とも東京ブランドの推進に向けた取組を継続的に実施してまいります。
(観光情報課)

アクセシブル・ツーリズム専用 カウンターを設置 (バスタ新宿)

東京都では、国内外から多様な旅行者を迎えるに当たり、アクセシブル・ツーリズム(※)の充実に向けた取組を推進しています。その一環として、当財団では東京観光情報センターバスタ新宿に令和元年9月1日(日)～11月30日(土)までの期間、試行的に専用カウンターを設置しました。専用カウンターでは、アクセシブル・ツーリズム研修を受けたスタッフが筆談ボード、コミュニケーションボードやコミュニケーション支援アプリなどを使用し、観光案内を実施しました。また、車いす・ベビーカーの無料貸し出しも行い、日本人のお客様をはじめ、訪日外国人旅行者にも数多くご利用いただきました。

今回の試行で得たノウハウを都内5か所にある各東京観光情報センターにて共有し、来年度更なるサービスの向上に活かしていきます。

(※) アクセシブル・ツーリズムとは、障害者や高齢者などの移動やコミュニケーションにおける困難さに直面する人々のニーズに応えながら、誰もが旅を楽しめることを目指す取組みです。



(東京観光情報センター)

第5回・6回 TCVBミーティング開催報告

第5回 TCVB ミーティング「パラアスリートから学ぶユニバーサルツーリズム」を令和元年10月8日(火)に日本財団パラアリーナにおいて開催しました。前半は、日本財団パラリンピックサポートセンターから講師をお招きして、リオパラリンピックにおけるアクセシビリティ調査の結果を説明いただくとともに、国内外の先進事例を参考にハード面・ソフト面でのバリアフリー対応を学びました。後半は、パラスポーツ選手である山本恵理選手から、「障がい者目線のリアルなお話」をうかがい、また、障がい別のコミュニケーション体験やグループワークを通して、知識を得るだけではなく、参加者自らが実際に行動に移せるようなプログラムを実施しました。

10月30日(水)には、会場にプロジェクションマッピングが施された笹塚アキチ!ツナガルラウンジにて、第6回 TCVB ミーティング「観光×デジタル～デジタル化による観光産業の行方～」を開催しました。前半は株式会社JTB 総合研究所の井野口正之氏から、デジタルテクノロジーの発展・普及によって、旅行・レジャー関連産業は今後どのように変化していくのかを中心にご講演いただき、後半は、本セミナー会場の企画・演出をされた株式会社ネイキッドの濱田篤氏をお招きして、デジタル技術と融合させることで既存の観光素材の付加価値をどのように高めているのか、事例を交えてご紹介いただきました。
(観光インフラ整備課)



【第5回】



【第6回】

高機能型観光案内標識 (デジタルサイネージ) を新たに設置しました

東京都及び当財団では、外国人旅行者の利便性向上を目的に、まちなかで観光情報等を多言語で提供する、高機能型観光案内標識(デジタルサイネージ)の整備を進めています。下記のとおり新たに4基のサービス提供を開始いたしましたので、お知らせします。お立ち寄りの際は、ぜひご利用ください。(全31基運用中)

①運用を開始する箇所

4箇所<新宿・大久保1箇所、原宿・表参道・青山3箇所>
・川新ビル前(新宿区歌舞伎町1-14-4)



- ・代々木公園（渋谷区代々木神園町2-1）
- ・原宿駅前まちかど庭園（渋谷区神宮前6-35-3）
- ・FPG リンクス原宿前（渋谷区神宮前1-14-34）

②利用時間

6時から24時

※上野恩賜公園内は23時まで

③提供情報

観光スポット、宿泊施設、飲食店、ATM 等

※都内まちなか等で共通利用できる無料 Wi-Fi

「TOKYO FREE Wi-Fi」のスポットとしてご利用いただけます。

④対応言語

日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語
（観光インフラ整備課）

WTM ロンドン2019出展

欧州で最大級の BtoB の国際旅行博、World Travel Market London 2019（11月4日（月）～6日（水））に、今年も東京ブース単独で出展してきました。

イギリスでも注目度の高かった日本開催のラグビーワールドカップ2019の直後、また翌年にはオリンピック・パラリンピック大会を控えていることもあり、ブース来訪者も増え例年に比べて注目が高いものとなりました。メディア取材、問い合わせやディスカッションでは、ラグビーに関すること、日本の名ホストぶりや日本チームの健闘を称える声が多く聞かれました。国際スポーツ大会の開催によって、日本・東京に強い関心を持っていない人々も訪日・訪都し、新たな視点と驚きを持って情報が発信され広がりを作るという良いサイクルが生まれ、発地側の旅行業界関係者にも強い影響を与え、訪都旅行のプレゼンスが高まりつつある状況です。

また、今年の東京ブースでは、翌年に控えたオリンピック・パラリンピックの PR コーナーを設置致したところ、大会に向けて交通や宿泊施設等についての問い合わせ等が寄せられました。今後、大会が近づきますが、大会後の実りを豊かにするには、インバウンドに関わる事業者においては、現地キープレイヤーへ情報提供など丁寧に対応し、ラグビーワールドカップから更にまた2020大会開催という大きな機会を活かし、旅行関連事業者との関係を深く構築していくことが重要となりそうです。

他には、WTM 全体を通し、各出展者やセミナー・イベント等、サステナビリティやリスポンシブルトラベルへの取組や打ち出しが、昨年より更に多く見られました。今後の観光業界において、大変重要なトピックであることは間違いありません。

（観光事業部）

豪州・米国からの教育旅行誘致

豪州は今年で3年目の現地プロモーションですが、近年教育旅行の手配が着実に増えてきている市場です。今年にはキャンベラとメルボルンにて訪日教育旅行の取扱いの多い非日系の旅行会社である Saizen Tours と G.E.T.Educational Tours が、JNTO とそれぞれ共催するセミナーに参加しました。首都キャンベラでのセミナー実施は初めてでしたが、各セミナーとも教員を中心に30名以上が来場し、教育旅行訪問先としての東京の魅力をプレゼンテーションしました。豪州では、各校が教育旅行の承認を得るために、担当教員が企画、その後学校長・州の教育省等、数々の承認を得る必要があります。訪都準備には長いプロセスが必要となります。参加された教員の皆様は、非常に意欲的で、すでに2020年に訪都を計画している学校も複数あり、訪都意欲への手応えを感じることが出来ました。

米国ではワシントン D.C. で開催された ACTFL Annual Convention and World Language Expo に JNTO と共同で出展しました。全米で日本語教育に携わる先生方及び教育関係者を対象とした情報提供・ネットワーキングを通して訪都教育旅行の促進を図ることを目的とし、200名以上の来場者に東京ブースを訪れていただくことが出来ました。また会期中には日本語教育者を対象とした朝食セミナーに参加し、51名の参加者に向けて東京 PR のためのプレゼンテーションを実施しました。セミナーでは、オリンピックに関する情報や観光施設の最新情報などについての質問が飛び交いました。

これらのプロモーションにより、東京が単なる観光地としてだけでなく、多彩な学習関連施設等が揃っている教育旅行に相応しい場所であることを再認識してもらうことが出来ました。

（観光事業部）



UAE・オランダ・ロシア有力旅行会社招聘

11月24日（日）から11月29日（金）まで、UAE・オランダ・ロシアの有力旅行会社計15社15名を招聘するファミトリップを実施しました。

初招聘となるオランダですが、日本への旅行客数は2018年で約7万人と今後ポテンシャルのある市場の為、観光都市としての東京を PR する非常に良い機会になりました。被招聘者は訪都回数が0回から6回と幅広く、まずは東京のシンボリックな場所をメインにしながらいオランダ人の潜在的ニーズを生かした自然やアクティビティ体



験を行程に入れました。東京スカイツリーや浅草寺、デジタルアートミュージアム、お台場からクルーズに乗り日の出、橋に渡り銀座歌舞伎座ギャラリーまで足を延ばしました。

最後に歌舞伎観劇も少しでき、異文化体験を満喫しました。サイクリング大国のオランダからのため、東京のシティ・サイクリングツアー体験を用意していたのですが、残念ながら当日は降雨となり、車でコースを回ることとなりました。オランダと違い、坂が多いことに驚かされていました。来年度は、是非サイクリングコースを再度組み込み、実際に坂と合わせた、趣のある東京の紹介にチャレンジしたいと思います。被招聘者からは、東京は、一回では回り切れないほど多くの魅力があるとポジティブな意見を多くいただきました。

招聘2年目のUAEについては、アブダビ・ドバイの両都市から招聘しました。東京の商品は販売しているものの、全員初来日だったため、実際に各名所を訪れ、日本文化に触れ、東京の魅力を体感できる行程内容にしました。特に着付け+人力車体験は昨年度に続き好評でした。また、家族旅行需要のあるUAE向けのコンテンツやハラル・ベジタリアンに対応したレストラン等も意識的に盛り込みました。東京の多様性を様々な角度から体験していただけたと思います。旅行先での体験等にこだわりのある顧客を抱える旅行会社からは、観光都市東京UAE市場で更に地位を高めるためには、魅力あるコンテンツや情報が的確に提供され、柔軟性を持った対応が求められるとの声がありました。

同じく2年目のロシアは、昨年度の被招聘者が来日経験豊富な方々であったため、訪日経験がない方を中心に招聘し、且つ、まだ日本の商品を売り出して間もない旅行会社も対象としました。主にリゾート地域への旅行が主流なロシアにおいても、近年ビザの緩和等で日本への関心は高まっており、今回は都心部を中心に新旧文化を感じていただける行程にしました。皇居や日本橋、江戸東京博物館や庭園等の伝統文化や歴史を楽しみ、渋谷スカイや原宿等では、流行の発信地としての東京を感じていただき、参加者からは「場所ごとに表情を変える街」という印象を強く受けたという声がありました。これを機に、ロシアの訪都旅行者のすそ野が広がることを期待しています。



この機会を活かして今年度はUAE市場セミナー、都内事

業者28社との商談会、レセプションも実施しました。被招聘者にとっては都内事業者と繋がり、新しい情報入手できる機会となりました。また、都内事業者にとってもビジネスマッチングの場として活用いただけたのではないかと考えております。

帰国後は各市場にて、今回のファムトリップでの経験を活かした訪都旅行商品のさらなる造成、販売増加が期待されます。
(観光事業部)

第28回ふるさと観光展に出展

当財団は、令和元年10月2日(水)～10月4日(金)に開催された公益社団法人日本観光振興協会主催の観光PRイベント「第28回ふるさと観光展 IN 仙台駅」に出展しました。本イベントには、関東ブロック広域観光振興事業推進協議会に加盟している関東甲信越および静岡の1都9県が参加し、観光パンフレットの配布や特設ステージでの観光PRなどを行いました。

今年度は、中央線開業130周年ということもあり、中央線および接続する青梅線沿線地域の観光PRを中心として、多摩地域のみならず23区及び島しょ地域の観光パンフレットやノベルティ等の配布を行い、観光施設や秋のイベント紹介を行いました。

期間中は、当財団賛助会員の大多摩観光連盟や、島しょ地域のステージPRとして東京諸島観光連携推進協議会にもご参加いただきました。ブースへの訪問者は、都内に何度も旅行経験があり、また、紅葉やイルミネーションスポットへの訪問などの旅行目的を持った方が多く、新たな観光コンテンツやイベント情報を求めているため、都内の様々な地域の情報をご案内しました。

(地域振興部)



観光まちづくり支援事業助成金 (第2回募集) 採択

東京都内の観光協会等が、地域の観光産業の活性化や経営力強化等を図ることを目的とした、新たな事業に対し助成金を交付しています。

このたび、本年度第2回募集を行い、令和元年10月18日(金)に書類審査会を開催し、下記3事業が採択されました。今後は申請団体毎に設定されたスケジュールに従い、各事業が実施される予定です。

令和元年度観光まちづくり支援事業助成金(第2回募集) 採択案件

No.	事業区分	申請団体	事業名
1	経営力強化	武蔵村山市観光協会設立準備委員会	武蔵村山観光まちづくり協会設立
2	情報発信	小笠原村観光協会	新父島マップパンフレット制作事業
3		大多摩観光連盟	大多摩観光連盟ホームページ新規作成事業

(地域振興部)

世界自然遺産旅行商品商談会 実施報告

東京都及び当財団では、国内の世界自然遺産登録地のある北海道、青森県、秋田県、鹿児島県と連携して、「世界自然遺産旅行商品 商談会」を実施致しました。本事業は、世界自然遺産登録地（知床・白神山地・屋久島・小笠原諸島）から観光事業者や自治体等が一堂に会し、これらの地域に共通する「世界自然遺産」をテーマに、旅行会社等とのマッチングを行う商談会を通じて、各地への旅行者誘致促進を図るものです。

9月の東京での商談会に続き、10月24日（木）大阪での商談会をインテックス大阪にて、11月26日（火）名古屋での商談会をTKP 名駅東口カンファレンスセンターにて行い、大阪では17社、名古屋では10社の旅行会社等にご参加いただきました。今後は旅行会社へのフォローアップを実施し、旅行商品造成後の販促協力を行ってまいります。（地域振興部）



大阪



名古屋

TOKYO 再発見！
街歩きツアー事業 開催報告

令和元年9月～12月の約3ヶ月間、都内各地の観光協会等の街歩きツアーを集めた、街歩きツアーイベント「ぶらっ Tokyo さんぽ」を実施致しました。この事業は、観光協会等のツアー認知度を上げ、国内外からの旅行者の参加を促すとともに、都内外に東京の魅力を再認識してもらうことを目的としています。8月22日（木）には、多くの方に街歩きの魅力を知っていただくため、「東京ミッドタウン日比谷」にて、オープニングイベントを実施致しました。期間中は、歴史・文化・自然から話題のスポット&グルメまで、個性



豊かなガイドが魅力溢れる東京をご案内しました。また、ラグビーワールドカップ2019™開催期間中に合わせて、英語ツアーの情報発信も行いました。（地域振興部）

第8回 TCVB ミーティング開催報告

令和元年12月9日（月）に、第8回 TCVB ミーティング「子供たちへの観光教育のススメ～これからの地域を担う基礎人材の育成に向けて～」をテーマとして開催し、26団体・30名の方にご参加いただきました。

講師の玉川大学教育学部 寺本潔教授からは、観光が日本の基幹産業になりつつある中、小・中学校の教材に「観光」の記述がほとんどない現状が指摘され、自ら監修した副読本を元に実施している「観光教育出前授業」などを通じて、地域の魅力を国内外の来訪者に伝えられる人材の育成と、観光交流の促進による地域活性化への効果が紹介されました。地域の観光団体をはじめ、観光業界、自治体、教育界、ジャーナリストなど、各界からの参加者が交流を通じ、各々の立場から観光教育の重要性と緊急性を伝え合う機会となりました。（地域振興部）



ウェルカム Tokyo イベント採択

国内外から多くの旅行者が訪れる2020年に、地域の観光協会や民間企業など多様な主体が連携し、東京を訪れる旅行者が楽しめるイベント等を行う取組に対して支援を行っています。

本年度、2回の募集を行い、審査の結果、以下 Web サイト掲載10事業が採択されました。今後、この10事業を、「ウェルカム Tokyo イベント」のブランド名で、統一的な広報展開を行い、イベント等を実施していきます。

ウェルカム Tokyo イベント Web サイト

[HP] <https://welcome-tokyo-event.jp/> （地域振興部）

●今後の事業予定●

都内アンテナショップ スタンプラリー開催

1月24日(金)～2月24日(月・休日)

観光活性化フォーラム・観光情報交換会 2月6日(木)

賛助会員交流会 2月20日(木)

TCVB カンファレンス 2月28日(金)

新 会 員 紹 介

フィールジャパン

事業内容: 訪日外国人向けガイド (FIT)
※通訳案内士 (英語) としてフリーランスで活動しています。10名以内のツアーアテンションをしています。

カシダス株式会社

事業内容: 様々な人々の便利な移動手段として、気軽に使える折りたたみ式電動車いす RASREL (ラスレル) を、全国の観光地や観光関連企業、公共施設や自治体へ販売、提供を行っております。

株式会社サンシャインエンタプライズ

事業内容: 「サンシャイン水族館」は、ペンギンが都会の空を飛ぶように泳ぐ姿を見ることができる水槽やアシカパフォーマンスなどが日本で人気の都市型水族館です。「スカイサーカス サンシャイン60展望台」は、東京の大パノラマの眺望に加え、VRコンテンツなどで楽しめる「遊べる展望台」です。

株式会社 PLANETS

事業内容: 2017年設立。teamLab Planets TOKYO の施設運営と管理および飲食店の経営と管理を行う。

YAMAGATA 株式会社

事業内容: 1906年創業のマニュアル総合メーカーとして海外9か国に拠点を持ち、インバンドビジネスを一つ柱として、海外プロモーション、翻訳サービス、印刷、人材サポートに至る幅広い提供を行うグローバル企業です。

アダプトイノベーション株式会社

事業内容: イベント事業における、企画・制作・現場管理・人材手配等

株式会社 THE LUXURY FLEET

事業内容: 東京を拠点に、関東エリアで迅速で快適な最高質の移動空間をお客様へご提供いたします。個人やご家族での旅行はもちろん、都心での大切なゲストのお出迎え等、さまざまな目的に合わせた車両を多数ご用意。知識豊かな運転手がお客様のご移動に責任をもって担当いたします。熟練した運転手と最新の車両とともに、最高級の旅をご堪能ください。

株式会社 JAPAN PRIVATE TOUR

事業内容: 日本国内のプレミアムツアーを企画・販売する旅行会社です。家族旅行や社員旅行、ロマンチックなハネムーンから美食ツアーに到るまで、現代的な、伝統的な、そして隠れた日本の魅力をご体感いただける旅行プランをお客様のご要望に応じてご提案しています。私たちのチームがご提供するあなたのためだけの旅行プランが、日本での思い出を決して忘れられないものにするをお約束いたします。

株式会社 MAHA

事業内容: メディア、マーケティング、旅行などの分野におけるフルサービスソリューションをご提供致します。株式会社 MAHA と傘下の子会社は総合的なコンテンツ制作 (映像/写真)、ブランディング、ローカリゼーション、イベントマネジメント、旅行業などの提供を専門としています。グループ内の各専門家が、国内およびアジア太平洋の複雑なマーケットにおける企業様やブランドの事業展開をサポートします。お客様のニーズに合わせてお好みのサービスをご選択いただけます。また、ご要望の多いサービスをまとめたお得なパッケージもご用意しています。

グリアティア株式会社

事業内容: 法人向けシェフサービス (サービス名称「Green Dining」)
Green Dining は「シェフの新しい働き方を作るシェフのためのプラットフォーム」であり「コミュニケーションを活性化する場作りを行うシェフサービス」。長時間・重労働・薄給と言われるレストラン勤務にとらわれぬ新しい働き方をシェフに提供しています。

合同会社リベロ

事業内容: ・広告宣伝/販売促進に関する企画、制作及び実施
・コンピューターによる広告宣伝物、印刷等の企画、デザイン、制作及び販売
・各種イベント、展示会、キャンペーン等販売促進に関する行事の企画、立案、会場設営及び実施運営作業の請負

ワールドジョイントコーポレーションジャパン

事業内容: WORLD JOINT TRAVEL は IACE TRAVEL U.S.A. の姉妹会社として、バス、ハイヤーなどの交通手段、ホテル、ガイド手配などをするランドオペレーターです。FIT から団体、教育旅行、カスタマイズツアーもお任せください。ハイヤー、貸切バスのみの手配も承ります。

渋谷スクランブルスクエア株式会社

事業内容: 本施設は、14階・45階~屋上の展望施設「SHIBUYA SKY (渋谷スカイ)」、17階~45階のオフィス、15階の産業交流施設「SHIBUYA QWS (渋谷キューズ)」、地下2階~14階の商業施設で構成された施設です。

株式会社レッツエンジョイ東京

事業内容: 月間約700万人が利用する、一都三県のおでかけ情報サイト「レッツエンジョイ東京」を運営する企業です。東京メトロとの共同事業として、15年間成長を続けてきた WEB サイト運営のノウハウのほか、フリーペーパー「TOKYO TREND RANKING」の発行、学園祭グランプリの企画運営を手掛けています。

株式会社ホライズンインターナショナル

事業内容: 大手旅行会社様に添乗員、通訳、イベントスタッフなどを派遣している創業31年の人材派遣会社です。また、有料職業紹介、旅行サービス手配業も併せて営んでおります。英語、中国語、フランス語、ロシア語、インドネシア語など多言語を話すことが出来るスタッフも多く在籍しております。個人旅行から団体旅行まで海外から来日されるお客様に幅広く対応可能です。

ゴーフエア株式会社

事業内容: 全国の空港やインバウンド需要の高い業種への人材サービスを提供しております。中国語や韓国語、英語等の多言語スタッフの提供を得意としており、採用課題の解決を図り、業界の一層の発展に寄与してまいります。

株式会社 LIXIL

事業内容: 私たちは、優れた製品とサービスを通じて、世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献します。

有限会社船宿あみ達

事業内容:
①ハイグレードな屋形船8船保有 (120名様乗船可能な屋形船所有)
②アクセス抜群! 「浅草」・「有明」・「晴海」・「越中島」・「江戸川」の5ヶ所が利用可能。
③多彩な遊覧コース
④有名老舗旅館で修行を積んだ料理長が作る和食コース料理は絶品。

株式会社 Fun Japan Communications

事業内容: 急伸するアジア市場において、自社メディア「FUNJAPAN」を媒体としたアジア最大級の日本好き外国人コミュニティを活用し、日本企業の海外進出やインバウンド施策において、ターゲット調査から実購買・実来店に結び付ける一連のマーケティング施策をトータルでご提供致します。

チケット インターナショナル

事業内容: 世界的 OTA で、美術館・博物館・商業施設、体験型商品を得意とするオランダのマーケティング会社です。当日予約を可能とするオンラインチケットシステムとグーグル社、他2000社を超える世界トップクラスのホテルとの提携で欧米人を中心に送客しております。11か国語での販促サイト (初期投資無料) も対応します。

NPO 法人築地食のまちづくり協議会

事業内容: 中央卸売市場が豊洲移転後も、食のまち「築地」のにぎわいを維持・継承していくために、各種サービスやイベントを展開しております。

株式会社 Way

事業内容: 多くの人に愛される日本の国技「相撲」。いまや相撲の魅力は日本のみならず世界の人たちからも注目されています。訪日外国人向け相撲イベントやお相撲さん役のキャストなど相撲に関するサービスを行っております。元お相撲さんのスタッフが親切・丁寧にお答えします。

賛助会員をご紹介ください!

当財団では、2020年以降も東京のインバウンドを一緒に盛り上げていく賛助会員を募集しています。もし、当財団の取組や賛助会員に興味のある事業者様がいらっしゃるいましたら、是非ご紹介ください。



東京の観光パンフレットを
いつでも どこでも
読める!

掲載のお申込みも
随時受付中!

<https://www.gotokyo.org/book/>

東京観光デジタル
パンフレットギャラリー
TOKYO Brochures

【発行元】

公益財団法人 東京観光財団
〒162-0801 東京都新宿区山吹町346番地6 日新ビル
TEL: 03-5579-2680 FAX: 03-5579-2685
<https://www.tcvb.or.jp> E-mail: tcvbinfo@tcvb.or.jp

■本会報に関する お問合せ先	総務部 総務課 : TEL 03-5579-2680
■会報送付の追加、停止、 送付先変更の連絡	memberinfo@tcvb.or.jp